

当面の教育活動について（感染症・熱中症予防等）

緑の香りが漂う初夏の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

子供たちは、体調を崩すこともなく、笑顔いっぱい元気に登校し、1学期の前半を過ごしてきました。子供たちへの健康管理の徹底等、皆様のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

「新型コロナウイルス感染症防止」については、緊急事態宣言期間の延長の有無等に関わらず、一層の警戒と徹底が必要です。また、児童の健康や生命に甚大な影響を与える「熱中症」の予防にも、これからの季節は十分な対策が必要となります。

こうした中、児童の教育を受ける権利を持続的に保障していくため、下記の通り、感染症及び熱中症のリスクを最大限低減した上で、教育活動を工夫・充実させて参ります。

皆様のご理解とご協力を、引き続きお願い申し上げます。

記

1 当面の対応

(1) 8時前の登校はできません

学校では、常に、地震等の自然災害や不審者の侵入等に備えておりますが、教職員が不在の時間帯は、十分な対応ができません。特に朝8時前は、きわめて無防備な状態です。

炎天下での「熱中症」及び「三密」を避けるためにも、8時前に学校に到着することがないように時間調整をしてください。分散して登校することが重要です。

(2) 「感染症」防止を徹底します

- ・ 感染症防止及び教育活動については、これまでと同様の対応を基本とします。
- ・ 感染防止対策を講じてもお飛沫感染の可能性が高い活動は行いません。
- ・ 緊急事態宣言期間中は、調理実習や合唱、児童が密になる活動等はしません。
- ・ 具体的には、本校ホームページの「感染症から守る」をご覧ください。

<http://www.city.akishima.ed.jp/~fujimi/08covtd/boushi/boushiTop.html>

(3) 「熱中症」予防を徹底します

- ・ 登下校時等は帽子を着用し、水筒を持参してください（こまめに水分補給をします）。
- ・ 登下校時や校庭で遊ぶときは、マスクを外しても構いません。
マスクを外す際は、人と十分な距離（2m程度）を確保し、会話を控えます。
- ・ 体育の授業等、運動をするときは、教員が声掛けし、マスクを外すようにします。
マスクを外すことが不安な場合は、着用したままでもかまいません。
その場合、熱中症予防のため、その児童の運動量を調整します。

(4) 暑さ指数に基づき、教育活動を制限します（屋内外を問わず活動場所ごと）

〈WBGT危険相当〉（WBGT31℃～）

教育活動全般において制限します。原則、運動は中止です。

- ・ 校庭での外遊びや体育等は、WBGT31℃未満の日陰等に限定します。
- ・ 教員の管理下において適切な水分補給や休憩とともに、活動量を抑制します。

〈熱中症警戒アラート相当〉（WBGT33℃～）

教育活動全般における制限を強化します。

- ・ 外遊び、体育、学級活動等の運動、野外活動（観察等）は、すべて中止します。

(5) 水泳指導は、下記の通り実施します

- ・ 本校の学校ホームページ「水泳についてのお知らせ」を、必ず確認願います。
- ・ 本日配布「水泳指導に伴う健康状態、治癒状況調査」を、必ず提出してください。
- ・ 緊急事態宣言期間中は、水泳指導は行いません（水に関する安全指導は行います）。

- ① 密集・密接の場面を避けるため、学年単位（おおむね50人以下）の指導とする。
- ② 女子更衣室を2か所設け、学年ごとに更衣する（異学年が混ざらない）。
- ③ マスクは、プールサイドで外し、自分のカバンに入れて保管する。
- ④ 更衣・授業中ともに、 unnecessaryな会話や発声を行わない。
- ⑤ 3人以上の指導体制（教員・指導員等）を確保し、児童の安全確保に万全を期す。
- ⑥ 今年度の学習は、水遊びや水泳運動の心得など、水に対する安全面に重点を置く。
- ⑦ 手をつないだり、体を支えたりする等、密接する活動はしない。
- ⑧ タオルやゴーグル等の取り違えや貸し借りをしない。

参考 ○環境省「熱中症予防情報サイト」 <http://www.wbgt.env.go.jp/>

運動に関する指針 （公財）日本体育協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」（2013）より

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止	WBGT31℃以上では、特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合は中止すべき。
31～35℃	28～31℃	厳重警戒 (激しい運動は中止)	WBGT28℃以上では、熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。運動する場合には、頻繁に休息をとり水分・塩分の補給を行う。体力の低い人、暑さになれていない人は運動中止。
28～31℃	25～28℃	警戒 (積極的に休息)	WBGT25℃以上では、熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休息をとる。
24～28℃	21～25℃	注意 (積極的に水分補給)	WBGT21℃以上では、熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21℃未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	WBGT21℃未満では、通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

参考 ○東京都「新型コロナウイルス感染症対策サイト」 <https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/>

東京都では、新型コロナウイルス感染症について、毎週、専門家による状況分析を項目毎に行い、都内の感染状況と医療提供体制それぞれについて「総括コメント」として4段階で評価しています。

都の新型コロナウイルス感染警戒度（感染状況総括コメント）

1 感染状況

<判定の要素>

○ いくつかのモニタリング項目を組み合わせ、地域別の状況等も踏まえ総合的に分析

<総括コメント（4段階）>

感染が拡大していると思われる

感染が拡大しつつあると思われる

感染拡大の兆候があると思われる

感染者数の増加が一定程度にとどまっていると思われる

5月26日時点の段階